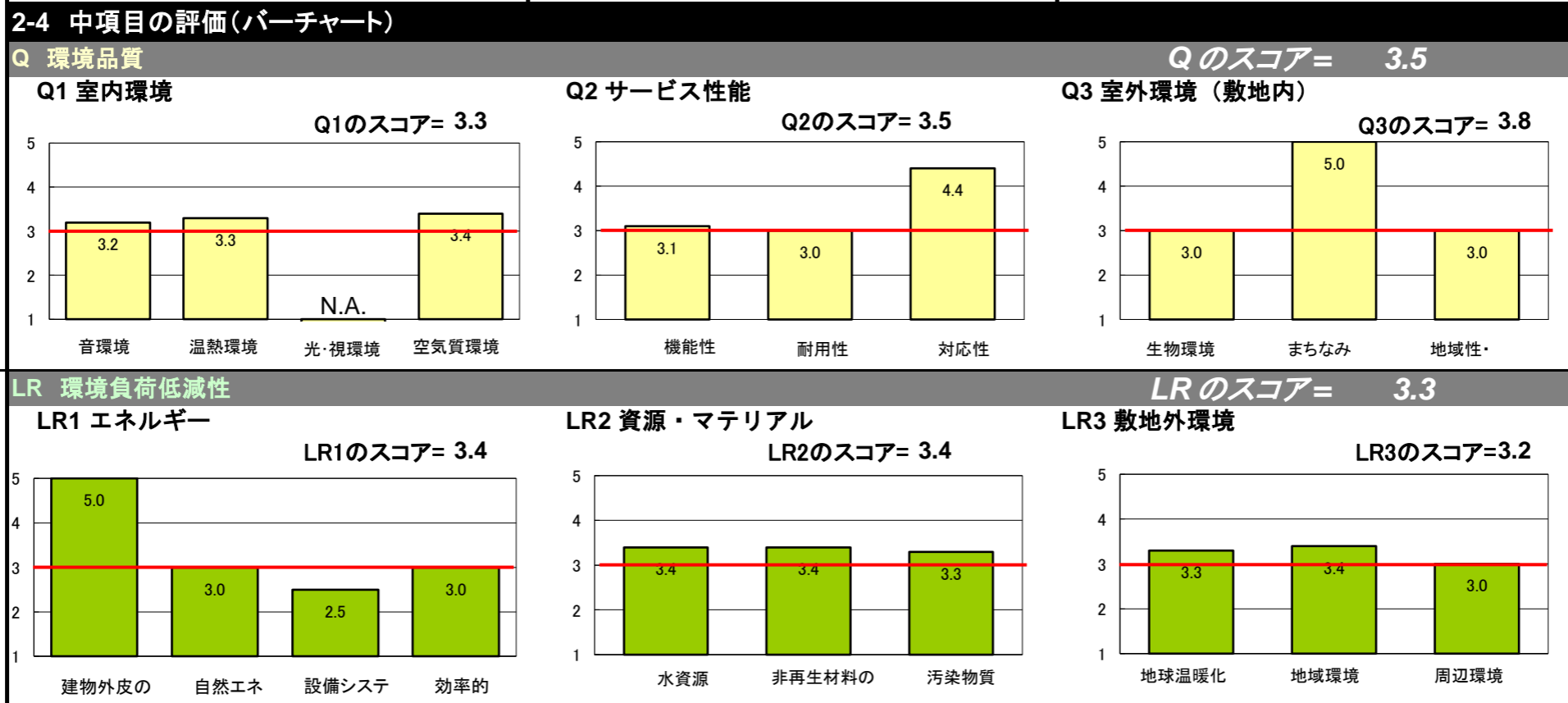
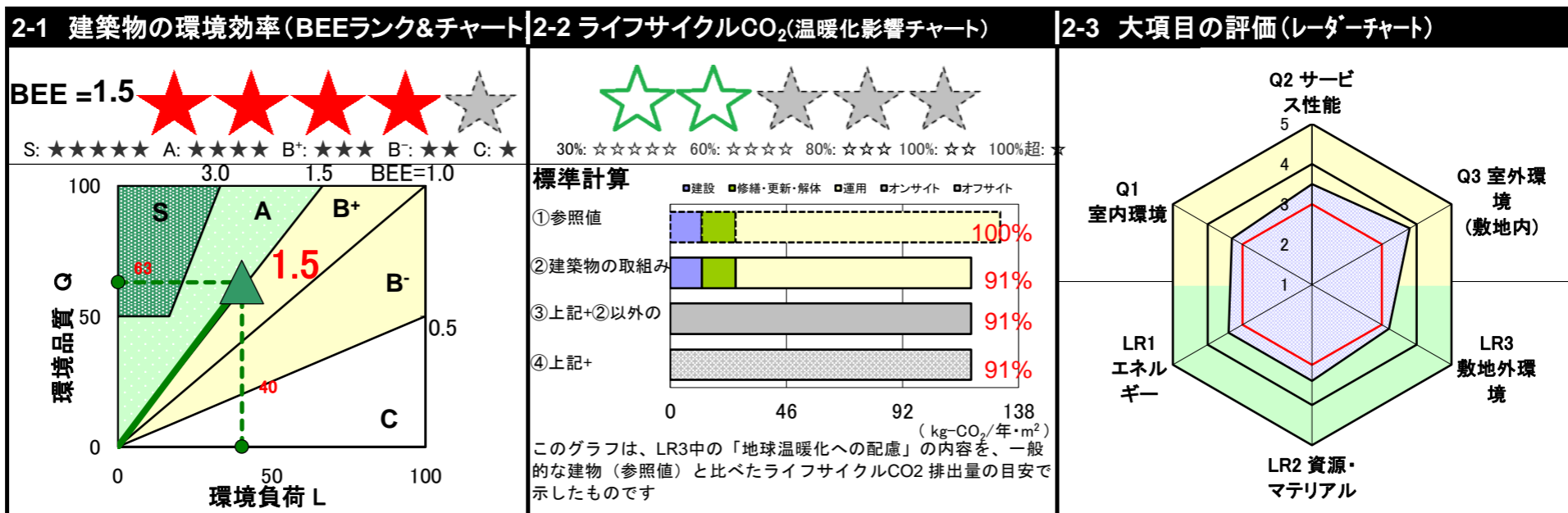
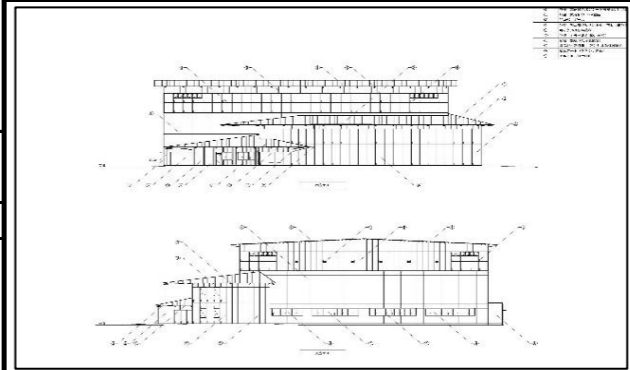


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)松平地域体育館	階数	地上2階
建設地	豊田市九久平町河内沢9-1他52筆	構造	RC造
用途地域	市街化調整地域	平均居住人員	350 人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,804 時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2021年10月 予定	評価の実施日	2019年11月27日
敷地面積	30,216 m <sup>2</sup>	作成者	(株)綜企画設計 石原 尉登
建築面積	2,673 m <sup>2</sup>	確認日	2019年11月27日
延床面積	2,718 m <sup>2</sup>	確認者	(株)綜企画設計 犬飼 和行



3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>3.3</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>3.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>0.0 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>3.5</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>3.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>愛知県産杉材</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄							全体
配慮項目	独自基準 重点項目	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
					評価点	評価点	重み係数	評価点		評価点	重み係数
<b>Q 建築物の環境品質</b>											
<b>Q1 室内環境</b>											
<b>1 音環境</b>											
1.1 室内騒音レベル		0.2	3.2	0.20	-	-	-	-	-	3.2	
<b>1.2 遮音</b>											
1 開口部遮音性能		0.4	3.0	0.40	-	-	-	-	-		
2 界壁遮音性能		-	3.0	1.00	-	-	-	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	-	-		
1.3 吸音		-	4.0	0.20	-	-	-	-	-		
事務室:床:カーペット、天井:石膏ボード											
<b>2 温熱環境</b>											
<b>2.1 室温制御</b>											
1 室温		0.4	3.3	0.47	-	-	-	-	-	3.3	
2 外皮性能		0.5	3.6	0.50	-	-	-	-	-		
3 ゾーン別制御性		-	3.0	0.38	-	-	-	-	-		
2.2 湿度制御		-	4.0	0.25	-	-	-	-	-		
2.3 空調方式		-	4.0	0.38	-	-	-	-	-		
外壁その他U値:1.56[W/m <sup>2</sup> K]、窓U値:4.84、SC値:0.41 ゾーン別に冷房・暖房の選択が可能											
<b>3 光・視環境</b>											
<b>3.1 昼光利用</b>											
1 昼光率		-	-	-	-	-	-	-	-		
2 方位別開口		-	-	-	-	-	-	-	-		
3 昼光利用設備		-	-	-	-	-	-	-	-		
<b>3.2 グレア対策</b>											
1 昼光制御		-	-	-	-	-	-	-	-		
<b>3.3 照度</b>											
<b>3.4 照明制御</b>											
<b>4 空気質環境</b>											
<b>4.1 発生源対策</b>											
1 化学汚染物質		0.3	3.4	0.33	-	-	-	-	-	3.4	
内部仕上げ材はすべて☆☆☆☆ VOCの放散が少ない材料を使用											
<b>4.2 換気</b>											
1 換気量		0.5	4.0	0.50	-	-	-	-	-		
2 自然換気性能		0.3	2.0	0.30	-	-	-	-	-		
3 取り入れ外気への配慮		-	3.0	0.50	-	-	-	-	-		
<b>4.3 運用管理</b>											
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	1.0	0.50	-	-	-	-	-		
2 喫煙の制御		0.2	4.0	0.20	-	-	-	-	-		
全面禁煙											
<b>Q2 サービス性能</b>											
<b>1 機能性</b>											
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>											
1 広さ・収納性		0.4	3.1	0.40	-	-	-	-	-	3.1	
2 高度情報通信設備対応		0.4	3.0	0.40	-	-	-	-	-		
3 バリアフリー計画	独自	-	3.0	1.00	-	-	-	-	-		
<b>1.2 心理性・快適性</b>											
1 広さ感・景観 (天井高)		0.3	3.0	0.30	-	-	-	-	-		
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	-	-	-	-		
3 内装計画		-	3.0	1.00	-	-	-	-	-		
<b>1.3 維持管理</b>											
1 維持管理に配慮した設計		0.3	3.5	0.30	-	-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保		-	3.0	0.50	-	-	-	-	-		
清掃器具スペース・流しあり、共用廊下に電源あり 高所の維持管理スペースあり、水栓の日常的な操作が容易											
<b>2 耐用性・信頼性</b>											
<b>2.1 耐震・免震・制震・制振</b>											
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		0.3	3.0	0.31	-	-	-	-	-	3.0	
2 免震・制震・制振性能		0.4	3.0	0.48	-	-	-	-	-		
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>											
1 躯体材料の耐用年数		-	3.0	0.80	-	-	-	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		-	3.0	0.20	-	-	-	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	②	0.3	3.1	0.33	-	-	-	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	3.0	0.23	-	-	-	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		-	3.0	0.23	-	-	-	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		-	3.0	0.09	-	-	-	-	-		
排水:塩ビライニング鋼管 B 給湯:ステンレス鋼管 C 消火:炭素鋼鋼管 C											
<b>2.4 信頼性</b>											
1 空調・換気設備		0.1	3.0	0.19	-	-	-	-	-		
2 給排水・衛生設備		-	3.0	0.20	-	-	-	-	-		
3 電気設備		-	3.0	0.20	-	-	-	-	-		
4 機械・配管支持方法	②	-	3.0	0.20	-	-	-	-	-		
5 通信・情報設備		-	3.0	0.20	-	-	-	-	-		

3 対応性・更新性			0.2	4.4	0.29	-	-	-	4.4
3.1 空間のゆとり			0.3	5.0	0.31	-	-	-	
1 階高のゆとり			-	-	-	-	-	-	
2 空間の形状・自由さ			-	5.0	1.00	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり			-	5.0	0.31	-	-	-	
3.3 設備の更新性			0.3	3.6	0.38	-	-	-	
1 空調配管の更新性		②	-	3.0	0.17	-	-	-	
2 給排水管の更新性			-	3.0	0.17	-	-	-	
3 電気配線の更新性			-	5.0	0.11	-	-	-	
4 通信配線の更新性			-	5.0	0.11	-	-	-	
5 設備機器の更新性			-	3.0	0.22	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保			-	4.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	-	0.30	-	-	-	3.8
1 生物環境の保全と創出		独自③	-	3.0	0.30	-	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④	-	5.0	0.40	-	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	3.0	0.30	-	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④	-	3.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			-	3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	-	0.40	-	-	-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	5.0	0.30	-	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			-	3.0	0.20	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			-	2.5	0.30	-	-	-	2.5
4 効率的運用			0.2	3.0	0.20	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			1.0	3.0	1.00	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	3.0	0.50	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	3.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	-	0.30	-	-	-	3.4
1 水資源保護			0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1 節水			-	4.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			0.6	3.0	0.60	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			-	3.0	0.67	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			-	3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			0.6	3.4	0.63	-	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減			-	3.0	0.07	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.24	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	-	3.0	0.20	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	-	3.0	0.20	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	3.0	0.05	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	-	5.0	0.24	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			0.2	3.3	0.22	-	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			-	3.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			0.6	3.5	0.68	-	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			-	4.0	0.50	-	-	-	
3 冷媒			-	3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	-	0.30	-	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		①	-	3.3	0.33	-	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			0.3	3.4	0.33	-	-	-	3.4
2.1 大気汚染防止			-	3.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			-	4.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			0.2	2.7	0.25	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減		独自	-	3.0	0.25	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			-	3.0	0.25	-	-	-	
3 交通負荷抑制		独自	-	3.0	0.25	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			-	2.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮			0.3	3.0	0.33	-	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1 騒音		独自	-	3.0	1.00	-	-	-	
2 振動		独自	-	-	-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1 風害の抑制			-	3.0	0.70	-	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	-	-	
3 日照障害の抑制			-	3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制			0.2	3.0	0.20	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			-	3.0	0.70	-	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30	-	-	-	

**重点項目スコアシート**

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

(仮称)松平地域体育館

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.3</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.3	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>3.5</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	4.4	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.4	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>3.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	外構緑化:0%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>		(評価ポイント)		<b>3.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	2.0	-	愛知県産杉材
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)松平地域体育館

計画上の配慮事項	
総合	地域性および環境性に配慮した建築計画とする。
Q1 室内環境	建物外皮の熱負荷を抑え、優れた外皮性能を達成する。 良好な空気環境を保つ計画とする。
Q2 サービス性能	建物コア部の面積を少なくし、将来の用途変更に対して柔軟な設計とする。 更新寿命の長い配管材を使用する。
Q3 室外環境(敷地内)	周辺の学校地域と調和した敷地設計とする。 県産の建材を使用し、地域性に配慮する。
LR1 エネルギー	建物外皮の熱負荷を抑え、優れた外皮性能を達成する。
LR2 資源・マテリアル	節水型器具を使用し、水資源の保護を図る。 躯体から仕上げ材の分別を容易化し、解体時の資源再利用に配慮する。
LR3 敷地外環境	省エネ設備導入し、運用時のco2排出量を抑制する。
その他	